がんばろう！東北

国土交通省東北地方整備局　北上川下流河川事務所
平成２６年　３月２８日

北上川下流河川事務所　平成２６年度 事業概要

北上川下流河川事務所では、平成26年度は、約53億円（工事関係費）の予算をもって、北上川下流及び鳴瀬川沿川地域の安全で安心できる社会基盤の形成、良好な水辺環境の保全、さらには個性豊かで活力ある地域づくりの支援を目指して、河川及び砂防事業の推進を図ります。

あわせて、平成26年度から旧北上川河口部において、『石巻地区かわまちづくり事業』に新規着手し、石巻市の復興まちづくり、「いしのまき水辺の緑のプロムナード計画」と調整を図りながら、事業を進める予定です。

また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により被災した堤防等の河川管理施設について、平成26年度予算約156億円の予算をもって、東日本大震災からの復興加速を図ります。

○国土交通省計上分

１．河川事業（鳴瀬川 約2,695百万円，北上川下流 約1,621百万円）

北上川・旧北上川・江合川・鳴瀬川・吉田川など、管理区間において、堤防整備等を実施します。

２．砂防事業（約1,021百万円）

平成20年度の岩手・宮城内陸地震により、栗駒山系の迫川・三迫川流域において発生した河道閉塞箇所の安定化対策を実施します。

○復興庁計上分

１．東日本大震災復興河川改修事業（北上川下流 約6,220百万円）

平成23年の東北地方太平洋沖地震による被害を踏まえ、堤防の嵩上げ・液状化対策を実施するとともに、堤防敷にかかる用地取得に取り組みます。

２．東日本大震災災害復旧事業（鳴瀬川 約1,430百万円，北上川下流 約7,984百万円）

平成23年の東北地方太平洋沖地震による津波により甚大な被害を受けた河口部の堤防盛土等を実施し、概ね５年間で完成させる予定であります。平成26年度は、堤防・護岸等の復旧を実施するとともに、堤防敷にかかる用地取得に取り組みます。

※上記金額は、業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載。

北上川下流河川事務所記者発表についてはホームページでご覧になれます。
ホームページアドレス【http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/index.html】

発表記者会：石巻記者クラブ、古川記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　北上川下流河川事務所
宮城県石巻市蛇田字新下沼８０　電話：０２２５－９５－０１９４（代表）
技術副所長（事業）　本田　英則　（内線２０４）
技術副所長（企画）　佐藤　正明　（内線２０５）
工務第一課長　齋藤　克浩　（内線３１１）

事　業　の　方　針

北上川下流河川事務所では、平成２６年度も引き続き、北上川下流及び鳴瀬川沿川地域の安全で安心できる社会基盤の形成、良好な水辺環境の保全、さらには個性豊かで活力ある地域づくりの支援を目指して、河川及び砂防事業の推進を図ります。

あわせて、平成２６年度から旧北上川河口部において、『石巻地区かわまちづくり事業』に新規着手し、石巻市の復興まちづくりや「いしのまき水辺の緑のプロムナード計画」と調整を図りながら事業を進める予定です。

河川事業では、北上川・旧北上川・江合川・鳴瀬川・吉田川など総延長 210.5km、総面積 7,440ha におよぶ所管区域の改修工事・維持管理等を実施しています。

砂防事業では、平成２０年度の岩手・宮城内陸地震により、栗駒山系の迫川・三迫川流域において発生した河道閉塞箇所の安定化対策を実施しています。

また、平成２３年３月１１日に発生した東日本大震災により被災した堤防等の整備促進を図るとともに、堤防整備に伴う用地取得の促進を図ります。

平成 26 年度 北上川下流河川事務所事業費総括表

国土交通省計上分

（工事関係費）　　（単位：億円）

予算科目			平成26年度（当初）		平成25年度（当初）		H26/H25当初比		備考
河川事業			北上川水系	計	北上川水系	計	北上川水系	計	
			鳴瀬川水系		鳴瀬川水系		鳴瀬川水系		
	河川改修費	一般改修	12.89	38.09	12.95	38.27	1.00	1.00	
			25.20		25.32		1.00		鳴瀬川中流部緊急対策特定区間事業 8.15億円（工事関係費）
	河川工作物関連応急対策事業費		1.42	3.17	1.19	2.25	1.19	1.41	
			1.75		1.06		1.65		
	総合水系環境整備事業費		1.90	1.90	0.16	0.16	11.88	11.88	
			－		－		－		
	河川事業計		16.21	43.16	14.30	40.68	1.13	1.06	
			26.95		26.38		1.02		
砂防事業			栗駒山系		栗駒山系		栗駒山系		
	特定緊急砂防事業費		10.21		16.42		0.62		
合計			53.37		57.10		0.93		

※受託工事費・調査費等は除く

＜＜参考＞＞復興庁計上分

（工事関係費）　　（単位：億円）

予算科目			平成26年度（当初）		平成25年度（当初）		H26/H25当初比		備考
東日本大震災復旧・復興河川整備事業			北上川水系	計	北上川水系	計	北上川水系	計	
			鳴瀬川水系		鳴瀬川水系		鳴瀬川水系		
	河川改修費	復興枠	62.20	62.20	49.28	49.28	1.26	1.26	
			－		－		－		
東日本大震災災害復旧事業			北上川水系	計	北上川水系	計	北上川水系	計	
			鳴瀬川水系		鳴瀬川水系		鳴瀬川水系		
	河川等災害復旧事業費		79.84	94.14	99.35	117.53	0.80	0.80	
			14.30		18.18		0.79		
合計			156.34		166.81		0.94		

【 主 要 事 業 】

○北上川下流河川事務所では、以下の主要事業を実施します。

【新規事業】

○ 石巻地区かわまちづくり【新規】

【完成事業】

○ 鳴瀬川中流部緊急対策特定区間事業【完成】

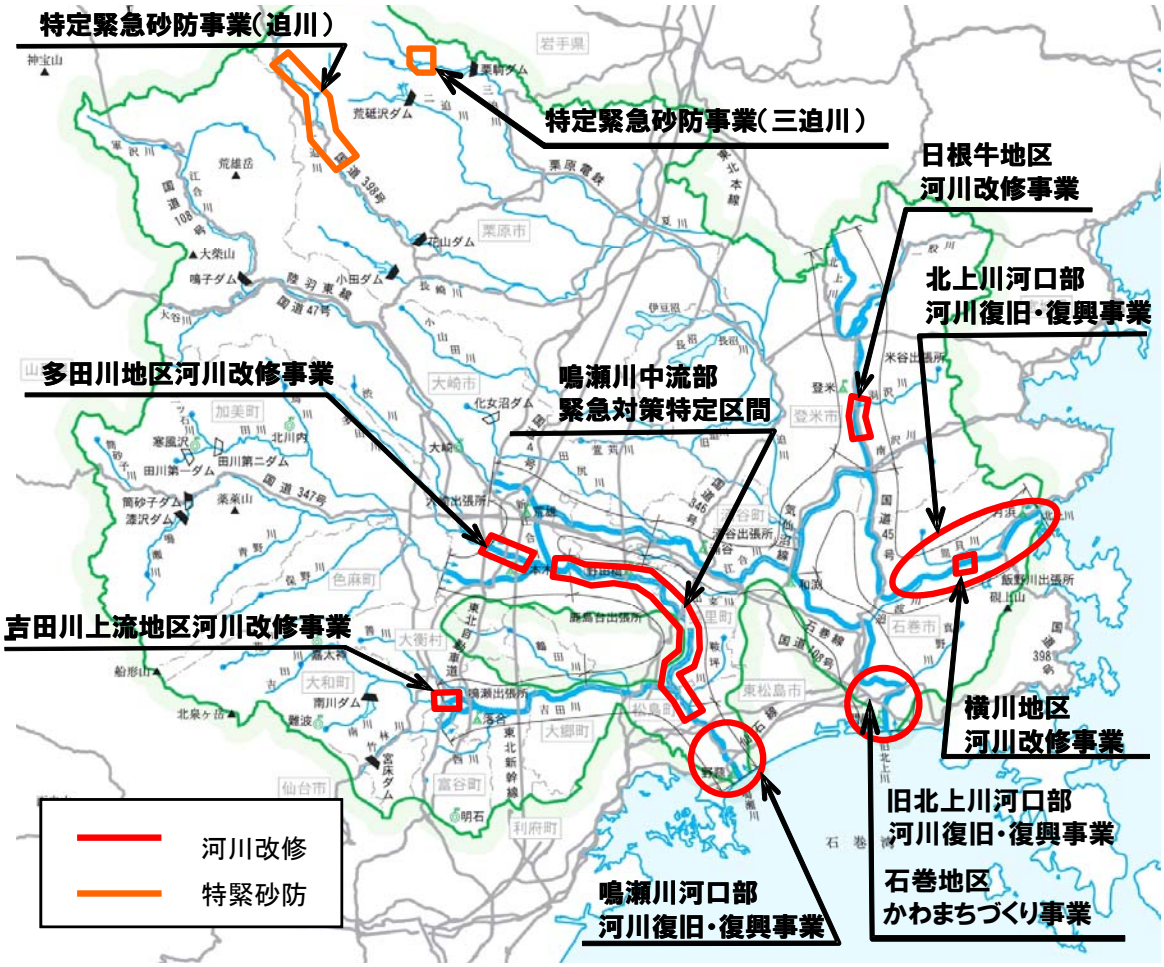
【継続事業（復旧・復興事業）】

○ 北上川河口部河川復旧・復興事業【継続】
○ 旧北上川河口部河川復旧・復興事業【継続】
○ 鳴瀬川河口部河川復旧・復興事業【継続】

【継続事業（河川・砂防事業）】

○ 日根牛地区河川改修事業【継続】
○ 横川地区河川改修事業【継続】
○ 多田川地区河川改修事業【継続】
○ 吉田川上流地区河川改修事業【継続】
○ 栗駒山系（宮城県）特定緊急砂防事業【継続】

管内河川及び主要事業箇所位置図



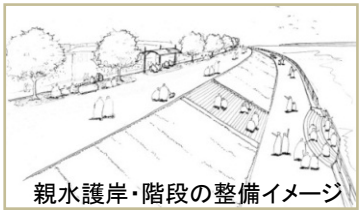
（主要事業の概要）

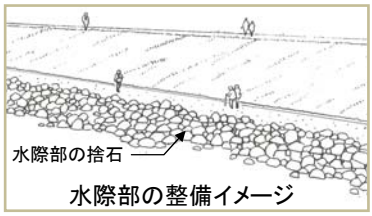
石巻地区かわまちづくり事業【新規】

（石巻市（いしのまきし））




川開き祭り（花火の観覧）


親水護岸・階段の整備イメージ



水際部の整備イメージ

計画概要

① 事　業　年　度 ： 平成 26 年度～平成 30 年代（新規）

② 計　画　諸　元 ： 石積護岸、捨石（護岸修景）、自然護岸（植生・捨石）
親水階段（かわど）、階段　等

③ 平成 26 年度工事関係費 ： 約 190 百万円（河川全体の事業費〔宮城県分〕）

事業概要

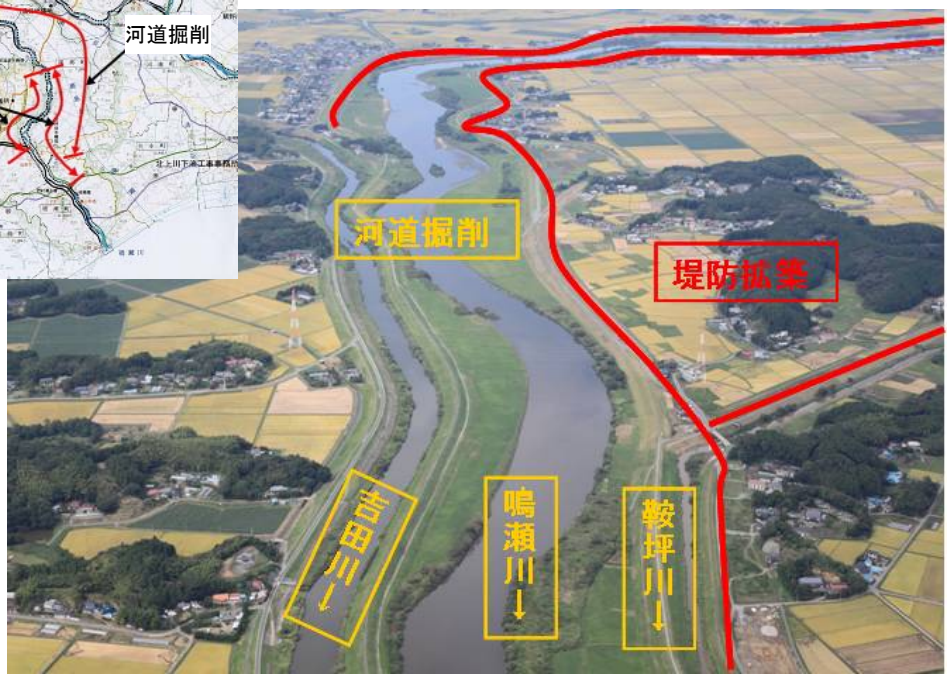
石巻市では「石巻震災復興基本計画」及び「水辺の緑のプロムナード計画」において、新たな堤防整備と併せてプロムナードを整備し、水辺と親しむことができる空間づくりを目指しています。

本計画では、震災からの復旧・復興の堤防整備や土地区画整理と併せ、国土交通省が親水護岸や管理用通路などを整備するとともに、石巻市が拠点施設の整備や休憩施設等を整備することにより、災害に強く地域住民が安全に生活できる居住環境を確保した上で、市民や観光客が賑わい集い交流できる水辺空間を創出し、地域の活性化を推進します。

（主要事業の概要）

鳴瀬川中流部緊急対策特定区間事業【完成】
（遠田郡美里町、大崎市、東松島市）





計画概要

① 事　業　年　度　：　平成 15 年度～平成 26 年度（予定）
② 計　画　諸　元　：　河道掘削・堤防拡築
③ 平成 26 年度工事関係費　：　約 815 百万円

事業概要

宮城県北部低平地域を流れる北上川や鳴瀬川など流域全体の治水安全度の向上を図るためには、旧北上川分流施設の整備完了による北上川から旧北上川へのゼロ分派の実現に加え、江合川から鳴瀬川への分派量の増大を図ることが必要となっています。

本事業は、江合川（新江合川）からの分派量増に先立ち、鳴瀬川の治水安全度の向上を図るものであり、鳴瀬川中流部の河道掘削及び堤防拡築を集中的・効率的に行うものです。
今年度は、東松島市(鳴瀬川左岸)において築堤工事、大崎市（鳴瀬川右岸）及び美里町（鳴瀬川左岸）において築堤工事及び河道掘削を実施し、事業の完了を図ります。

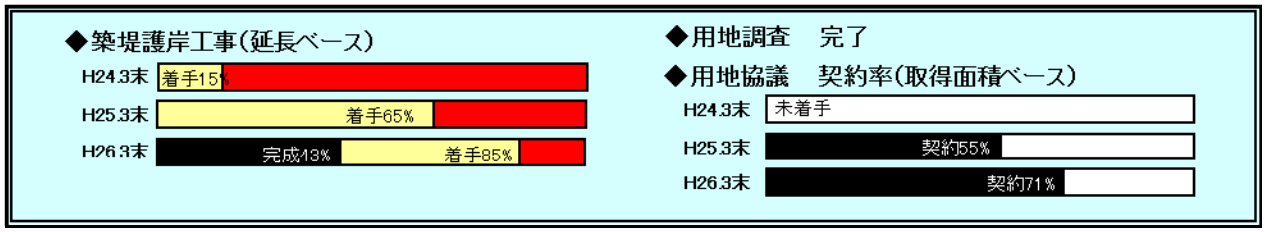
（主要事業の概要）

鳴瀬川河口部河川復旧・復興事業【継続】

（東松島市）



事業の進捗状況（H26年3月末）



事業概要

平成２３年の東日本大震災により甚大な被害を受けた鳴瀬川河口部の堤防盛土等を実施し、概ね５年間で完成させる予定です。

今年度は、堤防敷にかかる用地取得を推進するとともに堤防のかさ上げや護岸工事等を実施します。

◎鳴瀬川水系　平成 26 年度工事関係費

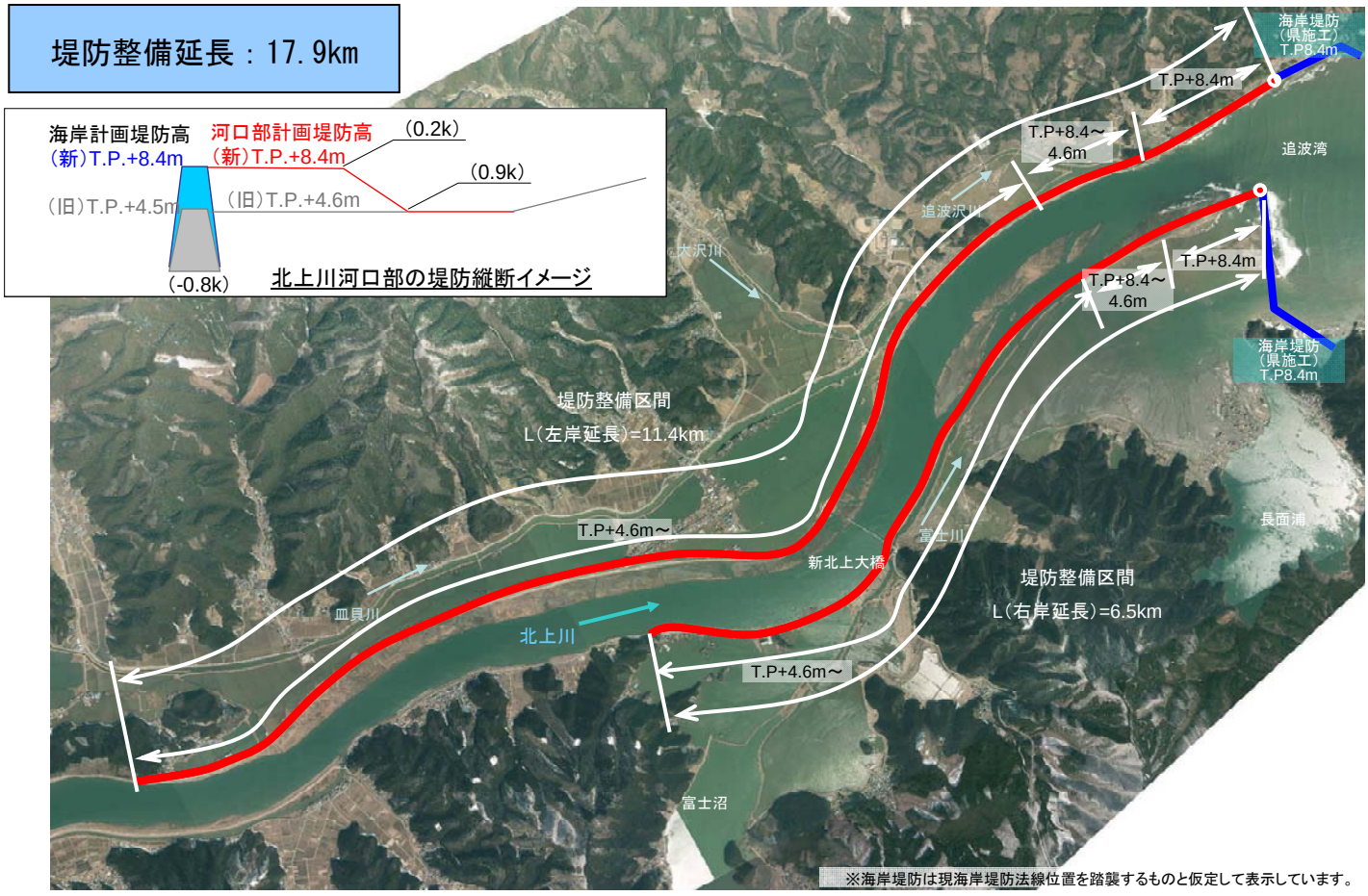
災害復旧事業　：　約 1,430 百万円

（主要事業の概要）

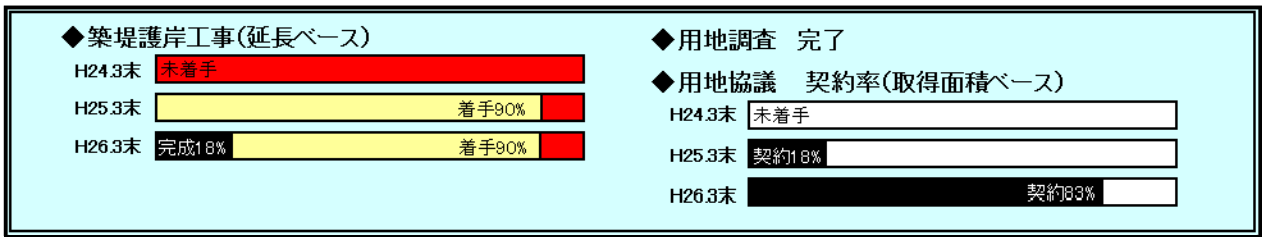
北上川河口部河川復旧・復興事業【継続】

（石巻市）

堤防整備延長：17.9km



事業の進捗状況(H26年3月末)



事業概要

平成２３年の東日本大震災により甚大な被害を受けた北上川河口部の堤防盛土等を実施し、概ね５年間で完成させる予定です。

今年度は、堤防敷にかかる用地取得を推進するとともに、築堤のための地盤改良や護岸工事を実施します。

◎　北上川水系（北上川・旧北上川）平成 26 年度工事関係費

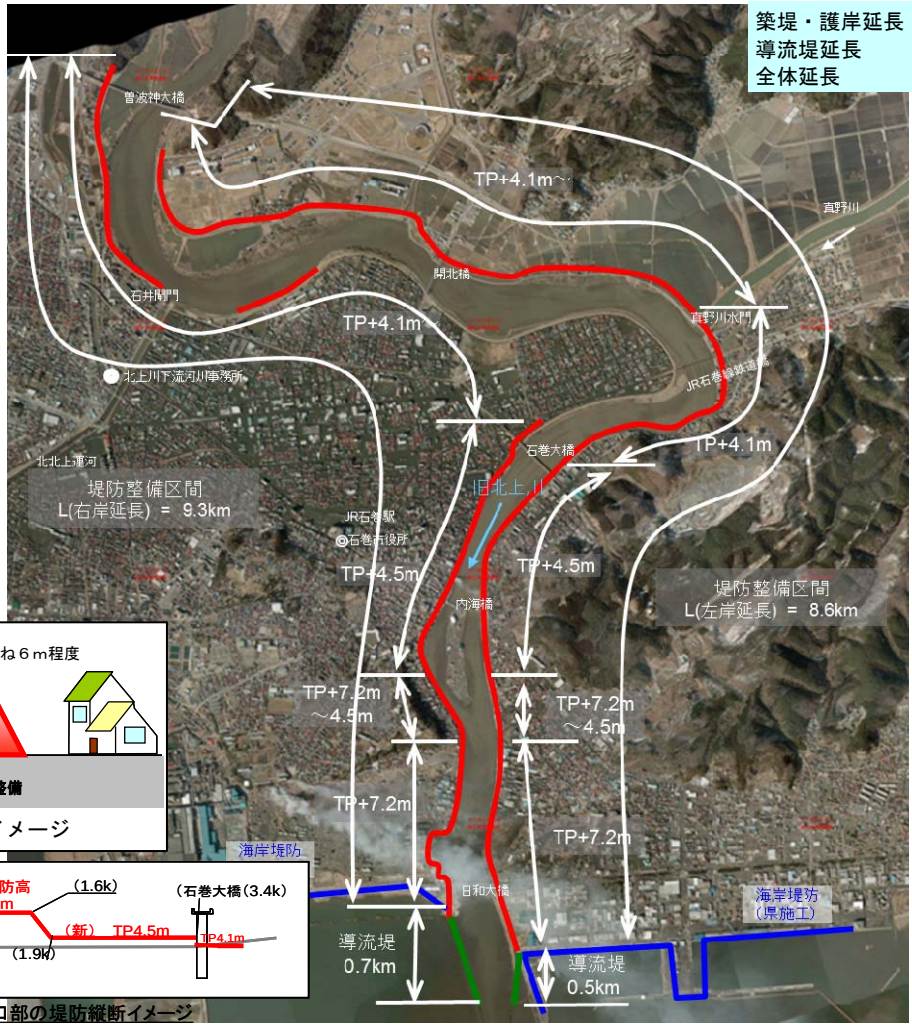
災害復旧事業（復興庁計上分）　：　約 7,984 百万円

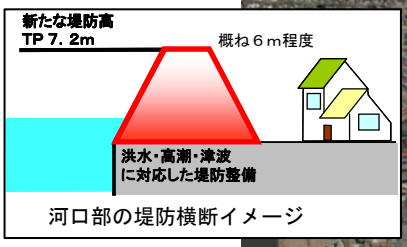
東日本大震災復興河川整備事業（復興庁計上分）　：　約 6,220 百万円

（主要事業の概要）

旧北上川河口部河川復旧・復興事業【継続】

（石巻市（いしのまきし））





旧北上川河口部の堤防縦断イメージ

事業の進捗状況（H26年3月末）

◆護岸工事（延長ベース）

H24.3末	着手5%
H25.3末	着手69%
H26.3末	完成39%　着手73%

◆導流堤・築堤工事（延長ベース）

H24.3末	未着手
H25.3末	着手17%
H26.3末	着手17% 完成6%

◆用地調査　実施済（一部調査中）

◆用地協議　契約率（取得面積ベース）
ただし、用地調査未了区間を除く

H24.3末	未着手
H25.3末	未着手
H26.3末	契約21%

事業概要

平成２３年の東日本大震災により甚大な被害を受けた旧北上川河口部の堤防盛土等を実施し、概ね５年間で完成させる予定です。

今年度は、堤防敷にかかる用地取得を推進するとともに、堤防かさ上げ、液状化対策、浸水対策のための護岸整備を実施します。

（主要事業の概要）

日根牛地区河川改修事業【継続】

（登米（とめ）市）



計画概要

① 事　業　年　度　：　平成 20 年度～平成 31 年度（予定）

② 計　画　諸　元　：　堤防拡築

③ 平成 26 年度工事関係費　：約 1,102 百万円

事業概要

北上川の左岸、登米市日根牛地区の堤防は幅や高さが不足しているほか、堤外地（※注）に家屋が存在しており、近年では平成 10 年、平成 14 年、平成 19 年と頻繁に浸水被害が生じています。

このため、宮城県・登米市と連携して堤防整備を進め、浸水被害の解消と治水安全度の向上を図るもので、平成２４年度から工事に着手しています。

今年度は、堤防整備、樋管の改築、用地の取得（国債償還）を実施し事業の推進を図ります。

（※注）堤防を境に河川側の敷地を、堤防よりも外側という意味で「堤外地」と言う。

関連事業

一般国道 342 号改築　（宮城県）

県道東和登米線改築　（宮城県）

大橋周辺地区整備事業（登米市）

（主要事業の概要）

横川地区河川改修事業【継続】

（石巻市）



計画概要

① 事　業　年　度　：　平成 21 年度～平成 28 年度（予定）

② 計　画　諸　元　：　堤防拡築

③ 平成 26 年度工事関係費　：　約 187 百万円

事業概要

北上川の右岸、石巻市横川地区の堤防は、幅や高さが不足している暫定堤防となっています。また、本地区は背後に山が迫っていることから貯留型のはん濫が発生しやすい箇所であるため、堤防強化及び既設排水機場の改築を実施し、治水安全度の向上を図るものです。

今年度は、堤防拡築に伴う既設排水機場及び排水樋管の改築を引き続き実施します。

（主要事業の概要）

多田川地区河川改修事業【継続】

（大崎市（おおさきし））



計画概要

① 事　業　年　度　：　平成元年度～平成 28 年度（予定）
② 計　画　諸　元　：　堤防拡築
③ 平成 26 年度工事関係費　：　約 1,121 百万円

事業概要

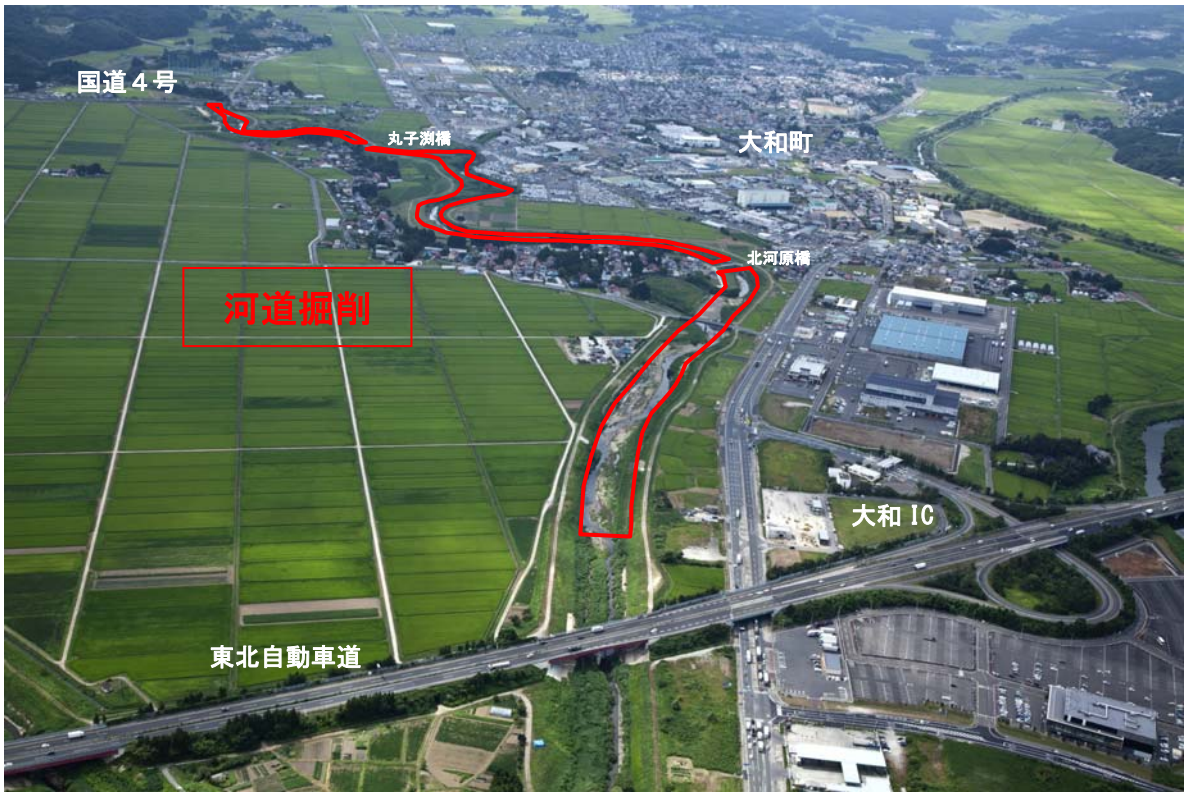
堤防の高さ・幅が不足し、背後に人口資産が密集する鳴瀬川支川の多田川地区では、鳴瀬川本川の背水により洪水継続時間が長時間に及ぶ特性もあるため、当該地区の堤防強化を行っています。

今年度は、堤防拡築及び樋管改築を実施します。

（主要事業の概要）

吉田川上流地区河川改修事業【継続】

（大和町（たいわちょう））



計画概要

① 事　業　年　度 ： 平成 17 年度～平成 30 年度（予定）
② 計　画　諸　元 ： 河道掘削
③ 平成 26 年度工事関係費 ： 約 584 百万円

事業概要

吉田川三川合流部（吉田川・竹林川・善川）より上流の地区においては、河川と隣接して国道、工業地、市街地があり人口資産が密集しているものの、河川の流下能力が著しく不足しているため、河道掘削などを行い治水安全度の向上を図ります。

今年度は、河道掘削等を行うとともに、北河原橋及び丸子渕橋の改築を実施します。

（主要事業の概要）

栗駒山系（宮城県）特定緊急砂防事業【継続】

（栗原市）



計画概要

① 事　業　年　度　：　平成 21 年度～平成 27 年度（予定）

② 計　画　諸　元　：　砂防堰堤５基

③ 平成 26 年度工事関係費　：　約 1,021 百万円（湯浜・湯ノ倉地区）

事業概要

栗駒山系（栗原市花山～栗駒）においては、平成 20 年 6 月 14 日の岩手･宮城内陸地震により、甚大な土砂災害（河道閉塞）が複数発生し、発災直後より応急対策事業を実施しました。

土砂災害の発生箇所及びその周辺地域では引き続き土砂流出が予想されるため、新規堰堤の建設や既存堰堤のかさ上げにより、不安定土砂の安定化対策を実施します。

今年度は、砂防堰堤２基の整備推進を図ります。